

第3回

おかざき景観賞

受賞作品集

Okazaki Landscape Award

岡崎市の景観づくりの進展を示す 「第3回おかざき景観賞」

Overall
Judgment

第3回おかざき景観賞の審査は、第一次審査(書類)と第二次審査(現地)を通して行われた。建造物部門(応募24件)では、「連棟の家」、「サラソウジュ アチワ」、「岡崎信用金庫城下町支店」の3作品が、多くの審査員から支持された。まず、住宅について見ると、周辺環境や既存の建物に配慮した住宅、2階部分をセットバックさせ、傾斜地上のアプローチの圧迫感を抑えた住宅、緑の前庭により道路側にやさしさを出した住宅、深い庇と植栽のある前庭付きの住宅、木立のある前庭に屏風状の壁を並べ、道路からの景観に深みと優しさをもたらした住宅、分散した中庭を効果的に配した住宅など、景観上の工夫を凝らしたものが多かった。その中で、「連棟の家」は、周囲の住宅地に合せ、機能別に複数の小さな箱(部屋)を上手に配置し、庭と通り抜けを造り出している。バス停が敷地の前にあることから、バスを待つ人のために、屋根と椅子のある庭を造るなど、優しさが通りにしみ出す計画で、好感が持てるもので、審査員間で、評価が高かった。

一般建築では、周囲の建物に合せ、現代和風意匠にしたクリニック、水平庇と木ルーバーで温かみを出した診療所、外壁の改修に際して、土壁としたRC造のビルなど、景観上のデザインに見るところが多かった。その中で、「サラソウジュ アチワ」は、山裾にあるという地形を活かし、建物の外壁を湾曲させ、眺望を取り込んだ美容院となっている。上六名にある「岡崎信用金庫城下町支店」は、建物外周に回遊用の小路を設けた全面ガラス張りの正八角形の店舗で、ガラスに岡崎城下町の絵図が描かれている。太陽の軌道から割り出したという、微妙に方向が異なるルーバーが特徴。この2作品に支持が集まった。広告部門(3件)は該当なし。景観まちづくり部門(応募3件)では、まちづくり協議会を結成し、岡崎市とまちづくり協定を結び、10年以上、景観上のルールによる住民活動を行っている、「さくら台まちづくり活動」を受賞に相応しいとした。



岡崎市景観審議会会長
瀬口哲夫

連棟の家



岡崎の南部、宮地町に建つ美容室と住宅とから構成された建築である。典型的な近年の都市のスプロール化(郊外化)された、住・商・工の混在した環境下、東南の角地・バス停前といった与条件下に在って、機能分節された建築群と緑化された外部空間を巧みに配し、敷地全体を街区と見立てた、感覚的にも造型的にも新たな街並形成の景観的可能性を創出した秀作である。四季を愛でる植栽群、バス利用者への心配り、ヒューマンなボリューム感、共有財産たる景観に対する設計者の意識の高さ、

クライアントの理解、施工者の協働、三位一体の共感・共有認識の具現化である。分節された建築・植栽群がバランスされた心地良いリズム感を与え、不可思議な異界の集合体的イメージを生み出すまでに昇華されたシーケンスの手法は美事である。個性的な独創性の魅力が、良好な街並景観創出の新たなモデルとして、エンドレスに生長され続けられん事を願うと共に期待する次第である。(横山 正登)

建造名 連棟の家

所在地 〒444-0202

所有者 市川 武

愛知県岡崎市宮地町柳畑51-1

施工者 丸長ホーム

設計者 studio velocity 一級建築士事務所



広がる田園風景の中に、小高い丘の上につつましくもしっかりと建物が佇んでいる。道から少し見上げると美容院の印象的な外観と共に、ガラス越しにほのかに内部が見とおせる。曲線を描くモルタル仕上げの壁が、緑豊かな丘にとけこんだ対比を見せている。広がる田園風景の緑の中に建物を造るとなぜかコントラストが強くなる傾向がある。しかし、この美容院は、直線の端部と凹面が融合していることで景観を引き締めるポイントになっている。それは、緩やかな勾配のある道からの高さ、印象的な形態

にもかかわらず安定している形そして色彩選択の妙がなしている効果であるからと考えられる。建物へのアプローチも回り込むことで周囲への配慮が感じられる。少し離れた道筋からも、建物下の道からの視点でも自然や生活を包み込むようなそぶりを見せている。その意味で、地域のランドマークとして、周囲が宅地化されていく景観の中での、良質な地域環境の形成に寄与して行くことが期待される。(堀越 哲美)

建造名 サラソウジュ アチワ

所在地 〒444-2112

所有者 有限会社 沙羅雙樹

愛知県岡崎市東阿知和町北山34-12

施工者 有限会社 サンロテック

設計者 株式会社ワーク○キューブ

岡崎信用金庫 城下町支店



伝統や格式、合理性を重んじた四角四面な金融機関然とした建築を脱し、光と温かみにあふれた開放的なデザインとなっている。

遠景に立てばガラス張りのファサード越しに、地域の木材がふんだんに使われている様子が見て取れ、至近に立ってみればガラスに直接あしらわれた浮世絵「東海道絵巻」のイラストが城下町岡崎のアイデンティティを想起させてくれる。視点の違いを上手く利用したそれらの仕掛けからは施主・設計者の遊び心が感じられ、この作品を見た者は心地よい

驚きを感じさせられることであろう。一方、極めてシンプルにまとめられた敷地内の外構・植栽は、建築の魅力を引き立てつつ、個性の強い建物と周辺のまち並みを緩衝するバランスで配されており好感が持てる。

この建築からは、地域と共に歩み、育ててきた地元100年企業が、都市の記憶をまちに留め、これからもまちを牽引していこうというメッセージが放たれているようである。(加藤 由里子)

建造名 岡崎信用金庫 城下町支店

所在地 〒444-0858

所有者 岡崎信用金庫

愛知県岡崎市上六名2丁目8-8

施工者 小原建設株式会社

設計者 株式会社日建設計、株式会社コンフォートメディア



行政と民間開発事業者が協働し、地区計画(行政)とまちづくり協定(住民組織)の政策手段を組み合わせて創造された人工的なコミュニティが「細川さくら台」である。たまたま同じ分譲団地に入居した約320戸の住民が、緑豊かで美しい街並みと安全安心な住環境を守り育てるために、まちづくり協議会を組織し、建築等への規制を法律以上に厳しくした協定の遵守を入居者に課すとともに、現状変更について協定への適合審査を事前及び工事後に行うシステムを構築している。街並み景観等の保

全は、地区計画や協定により制度的に担保される仕組みにはなっているものの、制度を下支えする生活者の自治意識や我が街への愛着がなければ、制度は形骸と化し自己規制は抑圧にしか感受されなくなる。さくら台では、親子で参加する家族緑化の日を年5回設け、団地内の清掃・草取りをするなど、地道な活動を続けておられる。コミュニティに魂を宿らせんとする実験に敬意とエールを送りたい。(中根 克己)

活動の名称 さくら台まちづくり活動

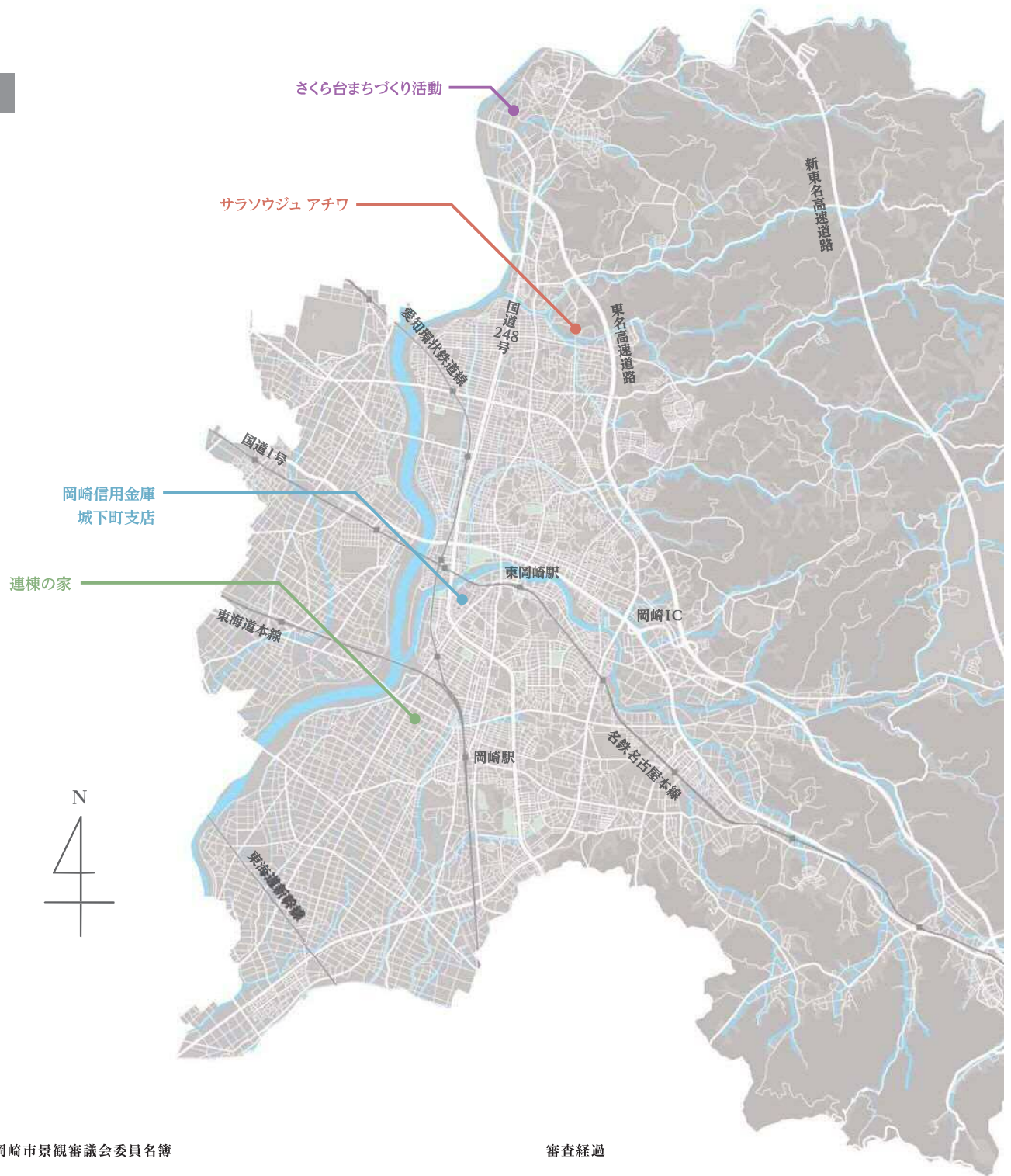
所在地 〒444-2149

団体名 細川町さくら台町内会

愛知県岡崎市細川町さくら台

細川さくら台まちづくり協議会

位置情報



岡崎市景観審議会委員名簿

瀬口 哲夫	名古屋市立大学名誉教授
堀越 哲美	愛知産業大学学長
河江 喜久代	岡崎市動植物調査会
水津 功	愛知県立芸術大学教授
杉野 丞	愛知工業大学教授
中根 克弘	中根克弘法律事務所(弁護士)
丹羽 誠次郎	愛知学泉大学教授
長谷川 明子	1級ビオトープ計画管理士
天野 裕	景観整備機構(特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた)
横山 正登	景観整備機構(特定非営利活動法人21世紀を創る会・みかわ)
佐藤 繁子	景観整備機構(公益社団法人愛知建築士会)
加藤 由里子	景観整備機構(公益社団法人愛知県建築士事務所協会)
柴田 芳孝	愛知県広告美術業協同組合
鈴木 壽美	一般公募

審査経過

応募期間	平成29年7月1日~平成29年10月31日
応募件数	建造物部門 24件 広告物部門 3件 景観まちづくり活動部門 3件
一次審査	平成29年11月24日
二次審査	平成30年2月19日

これまでのおかざき景観賞

平成25年度 第1回おかざき景観賞
平成27年度 第2回おかざき景観賞

詳しくは
こちら



企画・運営 **おかざき景観賞実行委員会**

特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた

特定非営利活動法人21世紀を創る会・みかわ

公益社団法人愛知建築士会

公益社団法人愛知県建築士事務所協会

岡崎市

問合せ先 岡崎市都市整備部まちづくりデザイン課
〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地
TEL:0564-23-6263
FAX:0564-23-7967

おかざき景観賞